

残したい歴史的建物」の保存活用を進める連携体制づくり



特定非営利活動法人 小諸町並み研究会

(1) 事業の目的

- ・ 空き屋状態、高齢化などにより、維持管理が困難になってきている建物について、専門家の連携により、所有者に対する資産活用のための相談・サポートのしくみをつくる。
- ・ 小諸城下町の歴史的建物を活かした活性化のビジョンを住民、NPO、行政、関連事業者が共有し、建物所有者と商業者とのマッチングをすすめる体制を構築する。
- ・ 小諸の農村部における「残したい建物」を発掘調査し、村おこし・定住促進に絡めて保存活用を進めるための協力体制をつくる。

(1) 事業活動の内容（概要）

（城下町エリア）

- ①調査済みの建物所有者へのヒアリング～提案・支援
- ②建物の保存活用方法の相談（所有者へのサポート）
- ③歴史ある建物を活用した公的な施設提案づくり
- ④歴史的商家の実験利用～活用希望者とのマッチング

（集落エリア）

- ⑤残したい建物についての情報収集・訪問調査
- ⑥関連機関の連携体制ネットワーク構築

①調査済みの建物所有者へのヒアリング～提案・支援

これまでリストアップ・調査済みの建物で、今後、所有者による保存活用が困難と思われる建物について、所有者へのヒアリング～保存活用の提案・支援をモデル的に行った。

ヒアリング調査は、高齢・一人暮らし世帯、遠隔地の空き家所有者に、今後の建物の維持管理にかかわるヒアリングを行った。（１０件）



②建物の保存活用方法の相談（所有者へのサポート）

山謙酒造の活用／山謙酒造の酒蔵の保存活用

山崎長兵衛商店の活用

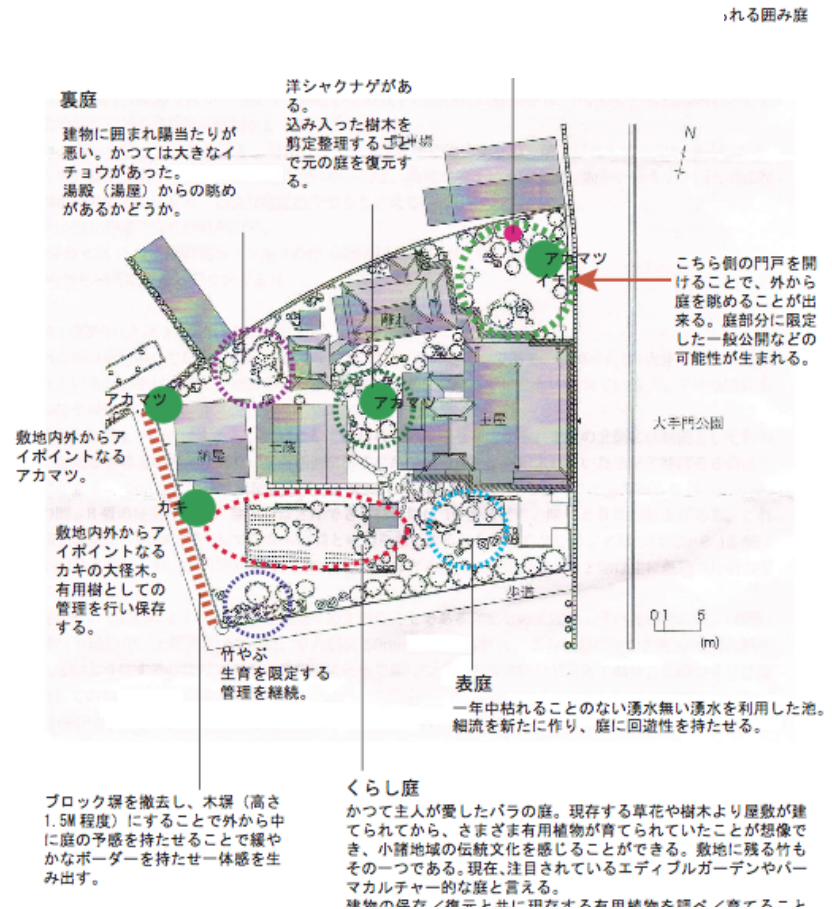
塩川五右衛門商店の活用



③歴史ある建物を活用した公的な施設提案づくり

小諸駅の評価・活用ワークショップ～提案づくり

歴史的商家を活用した「食のミュージアム」の提案



④歴史的商家の実験利用～活用希望者とのマッチング

■商家ギャラリーめぐり（城下町フェスタの中の企画）

活用した建物／山謙酒造、旧脇本陣、小林邸、塩川五右衛門商店

その他利用した建物／北国街道ほんまち町屋館、本陣主屋、ギャラリー紙蔵歩
建物公開10棟



信州小諸 城下町フェスタ'13
小諸城・北国街道 400 年祭

商家ギャラリーめぐり

展示販売

詳しくは→本陣主屋 <http://komoro-honjin.com/>

北国街道 ほんまち町屋館



町屋の日替わり ランチカフェ

日替わりシェフによる地元の旬の野菜中心の自然食ランチ (800~1000 円)、喫茶。

9/28(土) 30(月) ゆきいろ (自然食)
9/29(日) ナチュラルベジキッチン (酵素玄米)
10/1(火) 晴海 haru-umi (パンプレート)
10/2(水) ほのかふえ (玄米と天然酵母パンのプレート)
10/3(木) なごみ亭 (野菜の重ね煮)
10/4(金) 坂口さんと高橋さんのマクロビオティックごはん

*各日限定 20 食 予約可 ☎ honjin@t-garden.org

10/5(土) 小諸商業スマイルカフェ
(雑穀米カレーセット 500 円、モッフル 200 円)

ギャラリー紙蔵歩 家具と雑貨

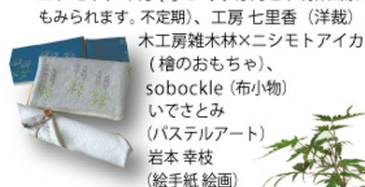
佐久に工房を持つネモファニチャーが出品。
荻原敬 (家具)、iruma (生活雑貨、布小物)。



(名) 塩川五右衛門

ぬくもりアート & クラフト展

おしゃれな小物作家のコラボ展。
ニシモトアイカ (手づくりはんこ / 制作風景
もみられます。不定期)、工房 七里香 (洋裁)



木工房雑木林×ニシモトアイカ
(櫛のおもちゃ)、
sobockle (布小物)
いでさとみ
(バスアート)
岩本 幸枝
(絵手紙 絵画)



旧脇本陣 山里の工房展

小諸の里での暮らしを愛する
作り手たちの
味わい深い作品展。



岡本一道 (天池窯 / 陶芸)
小林篤 (木彫)
工房むろ (さき織り)
*10/2.6は、工房むろ
がお茶とお菓子
で接待します。



山謙酒造 暮らしを彩る器と灯り展

海野宿のガラス工房 燈 (だいたい) のプロ
デュースによる、東信の作家の作品展。

寺西将樹、寺西真紀子 (ガラス工房 燈 / ガラス)
佐藤今朝香 (佐藤工房 / 鉄)
渡辺由理子 (酸塊窯 / 磁器)
香田和義 (漆の和 / 漆の器)



本陣主屋 手仕事ギャラリー

本陣主屋の運営を担う「創作人」に参加する
手仕事作家の作品展。

重野美和子、名取徒叔美、澤井すみ子 (手織り
さき織) 赤木雄一 (鋳物玉) 小諸・佐久の愛好
家の皆さん (つるし飾り) 萬屋骨董店 (古布)
常設展/伊東照代、大森美津子、佐塚葉子、鳥山
規子、有賀敬子、増谷美千代、堀籠葉子、荻原英子、
荒川淳子、新妻秀彦、さくちゆうこ、松林美千子、
山元良子、永井妙子、小山和子、土屋和栄



おもてなし茶房

お茶、珈琲セット (いくさ
おはぎ等) 500 円
(こもる味づ
くりの会)



小林金吾商店 手仕事作家・五人展

ほんまち蔵出し市 (歴史的建物公開)

□=近代建築に展示
* = みどころ、人気商品



この旗が目印!

■結城屋 (雑貨)

江戸後期の建物。他の建物は道路拡幅
で軒が切られているが、このたてものは
昔のまま。*かご、ざるなどの竹製品。

■ギャラリーつたや (骨董他)

大正時代に建てられた老舗旅館をギャ
ラリーに転用。高浜虚子ゆかりの宿で、
ここで俳句の会なども開いた。*各部屋
に文人の書などが残る。

□つるやホテル (旅館)

江戸中期からの老舗旅館。*ロビーに古
い写真などを特別展示。

■萬屋骨董店 (骨董) 登録有形文化財

小諸銀行として明治の始めに建造。
*古布、アンティーク陶器 (2階)。

■キャンイングリッシュスクール

明治初期の建物。*波形に塗り込められ
た軒やうだつに、こだわりが見られる。

■K E C 英語塾 (奥の蔵)

小諸一の豪商といわれた大和屋呉服店
の蔵。*どっしりとした蔵の扉と松。

□湯本京都屋 (呉服)

*老舗呉服屋に伝えられたものや、本
町のまちおこしで取り組んでいる布の
吊るし飾りなどを展示。

■大塚味噌醤油店 (味噌醤油)

店舗は江戸後期、蔵は明治時代。店の
創業は明治 20 年。*味噌漬けが名物。

■大和屋紙店 (紙・文具)

創業 160 年の老舗で江戸後期の建物。
島崎藤村もここで執筆用の紙を買った。
*さまざまな和紙、和紙の小物。

■そば七 (そば)

江戸時代に脇本陣代として建てられた
向拝 (こうはい) の木彫が見事。*店内
からの中庭の緑と白壁の蔵が美しい。

■旧大塚魚店 (個人宅) 登録有形文化財

昔は大きな海産物問屋。*土間に昭和 24
年の冷凍冷蔵庫がそのまま残る。

■御馳走家 火付盗賊 (居酒屋)

江戸時代の間口の狭い町屋を活かした
粋な店。まちづくりへの祖父の想いを
受け継いだ若い店主の心意気が伝わる。

■麵賊 無我夢中 (ラーメン)

大正時代に酒屋として建てられ、今で
もお酒の看板が残る。*地下の貯蔵庫。

■丁子庵 (そば)

明治 18 年の建物。当時はやった黒漆喰
仕上げのどっしりとした蔵造り。*「男
はつらいよ」の撮影時の写真を展示。

(集落エリア)

⑤残したい建物についての情報収集・訪問調査

- ・ 8/3 小諸の周辺部の農村や街道にある「いつまでも残ってほしい民家」の情報提供の呼びかけチラシの作成、300枚印刷、配布。NPO のホームページでも呼びかけ。

- ・ 9 月中までに11件の情報提供あり、現地調査に出向き写真を撮影した。

- ・ 2/23 集落町並み現地調査

講師：梅干野成央（信州大学工学部 助教）

浅間山麓の集落（諸、滝原）、千曲川沿いの川辺の集落（久保、宮沢）を周り、小諸の農村集落の建物、町並みについての特徴をレポートにまとめた。



小諸の周辺部の農村や街道にある 「いつまでも残ってほしい民家」 を教えてください。

NPO 法人小諸町並み研究会では、これまで主に城下町の歴史的建物の調査～保存活用に取り組んでまいりました。

そのなかで「わが村にはこんな立派な民家がある」「村の風景としての古い建物の価値を知らせたい」という声をよくいただきます。そこで、まずはみなさまから情報をいただいて、できるだけ調べて回り、「いつまでも残ってほしい民家」のリストをつくりはじめることにしました。

また、ここでの調査内容は長野県が現在進めている近代和風建築調査や、小諸市の進めている空家調査（利活用に向けた）などにも情報提供していきます。

小諸の美しい町並み風景を守り活かしたまちづくりに向けて、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■こんな民家をご紹介します！

- ・江戸時代～昭和初期までの建物で、これは残って欲しいなと思うような民家。
- ・屋敷まわりも含め昔の姿をよく残し、村の風景や町並みにとって大事な民家。
- ・立派な建物だが何にも使われておらず、このまま残せるのか心配している。

＊いただいた情報の扱いについて

- ・情報をお寄せいただいた方のお名前等は公開しません。推薦対象の建物の持ち主にも、お知らせしません。
- ・ご推薦いただいた建物も、所有者の方の承認が得られない場合は、公表しません。

受付期間 平成 26 年 2 月末日まで
送り先 FAX: 0267-26-2078
E-mail: info@machinami.komoro.org

NPO 法人小諸町並み研究会

小諸市相生町 2-2-1 TEL: 0267-22-2227

＊この調査は文化庁の支援を受けて実施するものです。

FAX・郵送の方は下記に書き込んでお送りください。メールも下記の内容をお書きください。できれば写真もお送りください。

民家の住所	大まかな地図
所有者 のお名前	
○をつけて ください ・現在お住まいである ・空き屋である ・その他（ ）	
推薦の理由	

⑥関連機関の連携体制ネットワーク構築

(連携体制)

小諸市商工観光課、小諸商工会議所、建築士会、不動産業者2社、社団法人ヤルダ兄弟舎（若者の建物活用グループ）

11／20 歴史的商家の店舗活用にかかわる勉強会の実施

(4) 事業の成果

(歴史的商家の活用)

- ・最近商売をやめて空店舗になっているとか、住んでいる方が高齢化して維持管理が困難になりつつある建物が多いが、居住と一体なために他人に入られたくないという方も多く、どう信頼関係を築いていくかが課題。
- イベントなどでの「実験利用」、専門家を交えての活用シュミレーションをい、前向きな検討が始まった。その成果で、実現に向かった物件もある。

(公的な施設の提案)

- ・来年度から、小諸市も含めて、小諸駅舎のリニューアルと活用に向けたプロジェクトが動き出そうとしている。

(集落エリアの「残って欲しい」民家調査)

- ・小諸の農家建築の特徴や歴史的な評価を進めていく方向性が見いだせた。

(連携体制)

- ・歴史的建物のリノベーションについて築士会との連携が生まれた。
- ・市や不動産業者などとの協議により、移住者誘致策と合わせて店舗活用や大きな民家の活用を考えていこうという連携体制が生まれた。

（５）事業実施後の課題

今回の調査で、改めて建物所有者の高齢化の課題がまったなしの状況であることを実感した。あと５年後には、空き家が急増するのは確実で、多くの文化財的建物も壊されてしまうのではないかという危機感を持った。しかし、活用について２つの課題がある。

- ・使いたい人が少ない。これは町全体の観光地化などを進めない限り、難しい。
- ・親戚などの理解が得にくい。（NPOの活動についてたいへんうさんくさく思われる）

これを乗り越えていくには、そのようなエネルギーが必要であると実感している。

（６）今後の展開

歴史的商家の活用が具体的になりそうな３軒ほどについて、実現の努力をする。

駅舎のリニューアルや利活用については、市が主体となって進てもらい、それについて全面的に協力していく。運営にかかわるグループをコーディネートしていく。

K邸については、助成金などを探して、不動産業者との協力体制で主体として入っていただく事業者のマッチングを進める。

集落の建物については、所有者とコンタクトをとって、内部の調査をさせていただく。